

平成29年度
初任者研修改革推進事業

研 究 報 告



メインター制による協働的な研修
研修形態の工夫
連携・交流による研修の充実



資質向上
組織の活性化



平成30年2月
熊本県立教育センター

研究の目的と概要

【概要】

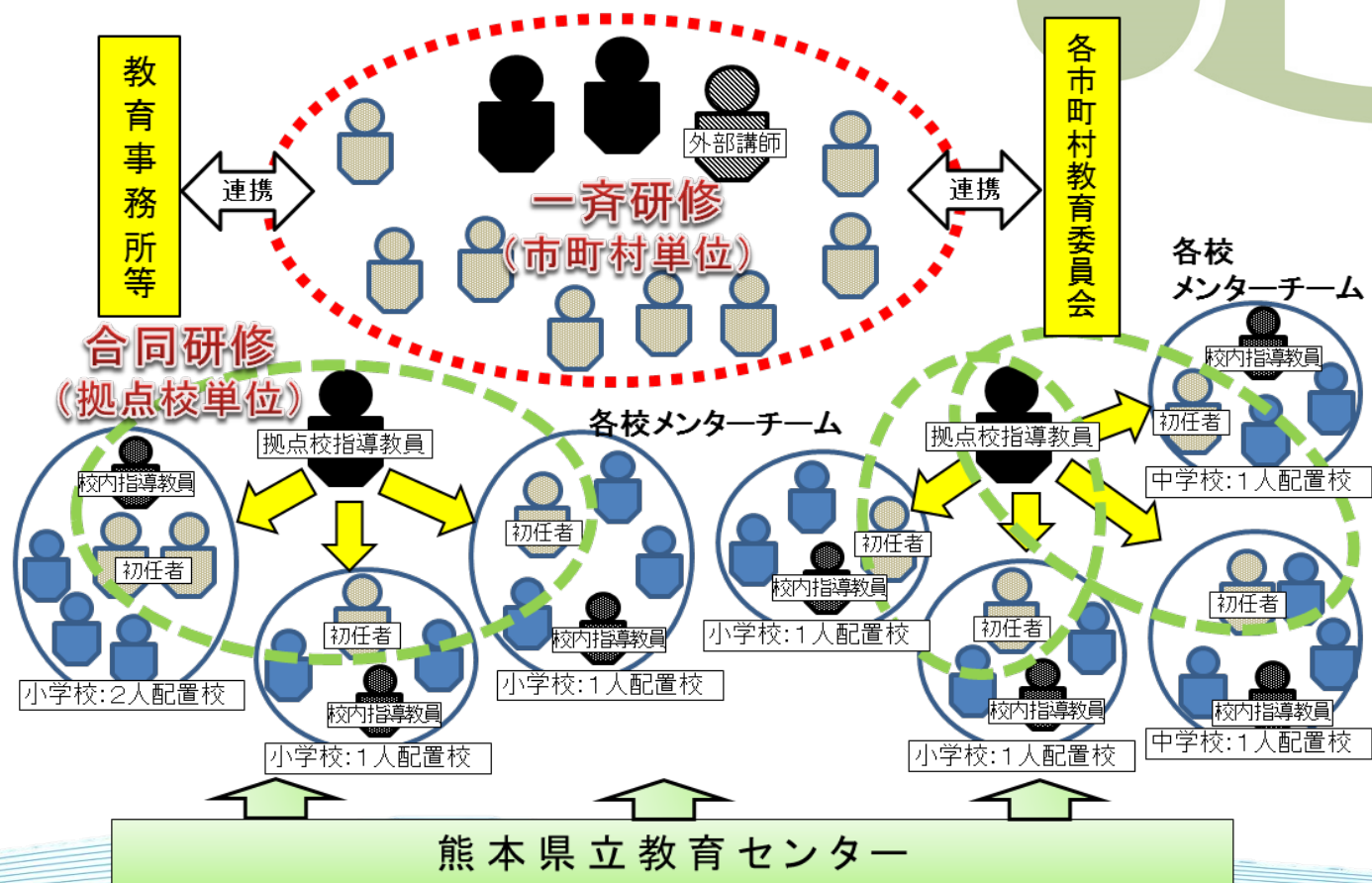
初任者に対する協働的な指導体制を整備・組織化することにより、各校メンターの指導力の向上を図り、複数年にわたってOJTによる初任者及び若手教員の資質や能力の育成を目指すことを目的に、菊池管内初任者配置校を対象として、以下のことに取り組んだ。

- ①研修内容・研修方法・研修形態をセットにした効果的な初任者研修年間計画の作成
- ②拠点校指導教員による直接指導から、初任者所属校のメンターによる間接指導へ
- ③一斉研修及び合同研修の実施
- ④研究の評価
- ⑤研究成果リーフレットの作成
- ⑥研究成果の普及

【目的】

- ・各校メンターの指導力向上とOJTによる初任者の資質・能力の向上
- ・開かれた校内初任者研修による研修状況の把握と一定水準以上の研修実施
- ・メンター制校内研修の実施による学校全体の指導力、学校力の向上
- ・開かれた初任者研修によるコミュニティの形成と初任者のメンタルケア
- ・研究成果をまとめたリーフレット作成による研究成果の普及・推進

【研修体制のイメージ】



メンター制による研修

(テーマごとにメンターチームの編成を変える)

【事例:1】

テーマ:「授業力向上」算数科の授業の進め方

(1)メンターチームの構成

- ・コーディネーター及び研修リーダー(拠点校指導教員)
- ・若手教員2人
- ・初任者2人



(2)成果

数学専門教員と教職2年目の2人の若手教員が研修に加わったことで、忌憚のない意見交換が行われ、初任者だけでなく若手教員の学びの機会となった。若手教員はメンター制による研修の良さを感じ取り、今後も研修に参加したいとの意向を示した。このような研修を継続していくことが、サブリーダーの育成につながっていくと感じられた。

【事例:2】

テーマ:「課題研修指導」教育論文の添削指導

(1)メンターチームの構成

- ・コーディネーター(拠点校指導教員)
- ・研修リーダー(教務主任)
- ・校長、教頭、主幹教諭
- ・校内指導教員2人
- ・初任者2人



(2)成果

管理職を含めた9人で、初任者の教育論文の添削指導を行った。初任者は先輩教員から激励の言葉と的確な指導を受け、教育論文の修正・加筆への意欲が更に向上した。管理職の指導で研修の効果が高まったと考えられる。多人数で研修を行うことは調整が難しい部分もあるが、研修の効果等を考えて適切に取り入れることも必要と感じられた。

直接指導による研修

- ・従来型のマンツーマンによる講話を中心とした研修。
- ・初任者それぞれの個性や実態に応じた研修を深めることができるという利点がある。
- ・年度初めは、この形式による研修が多く行われた。

研修の内容・形態・方法

初任者研修の校内における年間研修計画の

日付	曜	時間	校内研修		内容(研)
			授業	一般	
○月○日	水	1	1		算数科の授業の進
○月○日	月	1	1		算数科の授業の実
		1	1		算数科の授業の進
○月○日	水	1		1	安全教育・安全管
○月○日	水	1		1	課題研修(教育論)
○月○日	水	1		1	問題行動やいじめ
		1		1	問題行動やいじめ
○月○日	水	1	1		道徳の授業の進め
○月○日	月	1	1		道徳の授業の進め
○月○日	水	1	1		道徳の授業の実施
		1	1		道徳の授業の進め
○月○日	木	1		1	通知表の作成
○月○日	月	1	1		国語科の教材研究
		1	1		国語科の授業の実
		1	1		国語科の授業の進
○月○日	水	1		1	PTA活動
○月○日	月	3		3	キャリア教育の進め

一斉研修 (先進校に学ぶ)

【事例:2】

「キャリア教育」は 生き方教育である!

「平成28年度熊本県進路指導・キャリア教育研究大会」の発表校である菊陽中学校を会場に研修を行い、先進校の実践に学ぶことができた。キャリア教育の基本となる考え方と実践をつなぐ研修となった。

【初任者の感想から】

「キャリア教育は『生き方教育』という言葉が心に残りました。



菊陽中学校における一斉研修の様子:初任者が研究発表校に赴き、キャリア教育の具体的な実践について学ぶ。

をセットにした年間計画

面の例 初任者名 ○○ ○○

研修形態	研修方法
の進め方(指導案検討)	メンター制 協議
の実施と参観	メンター制 研究授業
の進め方(事後研究会)	メンター制 講義・協議
全管理	直接指導 講義・演習
育論文)のまとめ方	メンター制 講義・協議
じめへの対応	直接指導 講義・演習
じめへの対応	メンター制 事例研究
進め方	一斉研修 模擬授業
進め方(指導案検討)	メンター制 協議
実施と参観	合同研修 研究授業
進め方(事後研究会)	合同研修 講義・協議
	直接指導 講義
研究(指導案検討)	メンター制 協議
の実施と参観	合同研修 研究授業
の進め方(事後研究会)	合同研修 講義・協議
	直接指導 講義
の進め方	一斉研修 講義・参観

一斉研修 (専門教師に学ぶ)

【事例:1】

小学校では平成30年度から、中学校では平成31年度から「特別の教科 道徳」(道徳科)が実施される。その指導方法を多様で効果的なものにするため、具体的な実践を数多く持つ専門教師から学び、それぞれの実践に活かすために一斉研修を実施した。



校長による示範授業

①示範授業 「裏庭でのできごと」(道徳科)

授業者 西合志南中学校 中島栄治 校長

②講話 「道徳科の趣旨を踏まえた授業の進め方」

講師 西合志南中学校 中島栄治 校長

【初任者の感想から】

道徳の授業を参観させていただき、先生の生徒たちへの声かけがとても丁寧なされていると思いました。ロールプレイでは、子どもたちの自由な発想が発揮されたとても素敵な授業でした。特に、前に出た子たちが一生懸命に考えている姿が印象的でした。(中略)

講話では、自分のこれまでの道徳の授業の在り方を考え直しました。価値観の押しつけや、こんな考えを持ってほしいという思いがどうしても出てしまい、子どもたちを型にはめようとしていた自分を反省しました。

合同研修 (授業づくり)

【事例:1】

「初任者による授業実践(道徳)及び授業研究会」

参加者:初任者4人、拠点校指導教員1人

研修の実際

①中学校1年道徳 内容項目「誠実な行動と責任」

②小学校5年道徳 内容項目「規則の尊重」

成果

- ・小・中学校共通の「道徳」の授業だったので、お互いに学ぶことが多く、その後の授業に活かした。
- ・中学校の授業(導入の工夫)が小学校の授業(導入のしかけ)につながった。

【初任者の感想から】

- ・授業を見る側だったからこそ、見えてくることがあり、とても勉強になりました。導入の工夫を自分の授業に活かしていきたいです。
- ・板書が丁寧で、図やイラストがあり、授業の流れが分かりやすかったです。発表名札を取り入れたいと思いました。



小学校の授業風景



初任者による授業研究会

【事例:2】

「初任者による授業実践(教科)及び授業研究会」

参加者:初任者3人、拠点校指導教員1人

研修の実際

①算数科の授業(小4)

②総合的な学習の時間と国語科の授業(小3・4)

成果

- ・指導案作成や授業づくりでは、他教員の指導・助言を受け、授業力の向上につながった。
- ・初任者にとってはお互いの授業を見合うことで良い刺激になり、次の合同研修への意欲付けになった。

【初任者の感想から】

- ・子どもたちの意見がより活発になり、ICTの活用はとても効果的だと感じました。
- ・他の人の意見を聞いて、子どもたちに学習の見通しを持たせることが大切だと思いました。



算数の授業



国語の授業

【初任者の感想から】

1 一斉研修

- ・周りの先生方の様々な意見がとても勉強になりました。他の初任者も同じような悩みを抱えていることが分かりました。レポートを読み合い、意見交換をしたことで、子どもが安心して「自分のことを語る」ことができる集団づくりの大切さが分かりました。

2 合同研修

- ・授業のことから日常のことまで様々なことを話すことができました。
- ・同じ初任の先生の授業を参観でき、参考になったし励みになりました。
- ・がんばっている先生方がいることを忘れず、日々精進していきたいと思えます。

3 メンター制による研修

- ・先輩の先生方の意見や考えを聞くだけでなく、実際に授業を参観することができ、多くのものを得る研修となりました。授業について考えることで課題を発見し、アドバイスをし合うことで改善を図ることができました。



【感想から読み取れる研修の効果や価値】

一斉研修

- 1 優れた授業を参観したり、講話を聞いたりすることができた。
- 2 初任者間での連帯感や安心感が生まれた。
- 3 多様な意見が聞けた。

合同研修

- 1 親近感が増し、励みにもなる。
- 2 意見が出しやすく、質問等がしやすい。
- 3 焦点化して協議がしやすい。

メンター制による研修

- 1 同僚の先生方と気軽に意見交換ができた。
- 2 同僚の先生方に研修に関わってもらえた。
- 3 2年目、3年目の先生方の経験を聞くことができ、教職の見通しが持てた。

【成果】

- 直接指導以外に、一斉研修・合同研修・メンター制による研修という新しい研修が加わったことで、研修内容に応じた研修形態が選択できるようになった。
- 一斉研修と合同研修においては、研修内容について様々な工夫を行った結果、初任者は充実感を得ることができた。
- 初任者同士の交流の機会が増え、授業づくりの工夫や学級経営等について話すことができ、互いの意識を高めることができた。
- 合同研修では、互いのがんばりを知ることで、主体的な研修の構築、小中連携、異校種理解といった側面でも効果が見られた。
- メンター制による初任者の研修では、校内職員の参画が一層推進され、2年目、3年目の若手教師の刺激にもなった。

【課題】

- 一斉研修・合同研修等、校外研修が増えたため、初任者が学校を離れることが多くなった。後補充や旅費等の措置が必要となる。
- メンター制による研修では、放課後に実施することが多く、時間調整が必要である。
- 管内や市町村単位での打合せや連絡調整のための場が必要である。

多様な 研修形態

- ・指導教員による講話、演習、実技等の**直接指導**
- ・**メンター制**による事例研究、教材研究等の双方向型の研修
- ・複数の初任者を含む**一斉研修**や**合同研修**



研修内容に応じ、適切な研修形態をとることで、より効果的に初任者の理解を深め、実践力を高めることにつなげる。

充実した 研修内容

- 【一斉研修】
 - ・教育論文の書き方
 - ・人権ふれあいセンター指導員に学ぶ研修
 - ・授業マイスター等に学ぶ研修(道徳・国語)
 - ・研究発表校に学ぶ研修(キャリア教育)等
- 【合同研修】
 - ・特別支援教育コーディネーターに学ぶ研修
 - ・初任者による授業実践及び授業研究会等

- ・優れた指導力や高い専門性を持つ講師、研究発表校の取組から、指導技術や教育理論を体験的に学ぶことで、資質や能力の向上を図ることができる。
- ・他の初任者と意見交換を行うことで、様々な考え方を学ぶことができる。



メンター制による 校内研修

- ・学習指導案の作成及び検討
- ・研究授業及び授業研究会の実施
- ・学級経営の課題と今後の取組



- ・なぜだろうと思った時、すぐに聞くことができたので、分からないことをそのままにせずに済みました。(初任者の感想)
- ・悩んでいることを出し合う中で、自分の中で何となくやってきたことの意味や自分の取り組むべき課題が明確になりました。(若手教師の感想)
- ・自分のこれまでの経験に基づき、若い先生方の悩みを解決したり、頑張っている背中を押したりすることができました。(ベテラン教師の感想)

